科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	自己形成の心理学 Psychology of Self-Formation			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 溝上　慎一		
群	健康・スポーツ科目群	分野(分類)	健康・スポーツ科学(発展)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	火4	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

自己形成の心理学は、フロイト、ジェームズ、ミード、ラカン、エリクソンといった古典的な自我・自己論者を土台としつつ、動物行動学、社会学など他分野との学際的交流をも積極的にはかりながら発展している、学問の縦、横をかなり広範囲にカバーして成り立つ学問テーマの一つである。限られた時間のなかで、ビデオ教材や事例も取り入れながら、自己形成のポイントをかいつまんで概説していく。なお、これは全学共通科目の授業なので、心理学、自己形成論に興味のある学生であればどの学部の学生でも歓迎である。

[到達目標]

・自己形成に関する心理学概念を、自分のこれまでの生育史や経験と照らし合わせて理解すること。

・ディスカッションや発表する力を発展させること

[授業計画と内容]

授業構成

1．イントロダクション
2．他者とつながろうとする力－母子の絆（アタッチメント）、基本的信頼
3．他者を一体的な関係で学習する－遺伝と環境、ピアジェのシェマ形成論、フロイトの同一化、社会化
4/5．他者へのポジショニング－他者の目を通して世界を見る、自己像の把握
6．ディスカッション１（前半まとめ）
7/8/9．自己発達から自己形成へ－エリクソンの青年期アイデンティティ論、自己形成期としての青年期
10/11．ハーマンスの対話的自己論－さまざまな「私」、もう一人の「私」も他者になる
12/13．現代社会におけるアイデンティティの分権化プロセス－エリクソン・アイデンティティ論では説明できない現代アイデンティティ論
14．ディスカッション2（後半まとめ）
15．コンセプトマップ＆レポート

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

(1) 各回のワークシート提出（出席・作業確認）（50点）
(2) 2回のレポート提出
・中間レポート（10点）
・コンセプトマップに基づく総括レポート（40点）

自己形成の心理学(2)へ続く↓↓↓

自己形成の心理学(2)

[教科書]

溝上慎一 『自己形成の心理学 : 他者の森をかけ抜けて自己になる』（世界思想社）ISBN: 9784790713708

[参考書等]

（参考書）
授業中にテーマに応じて紹介します。

[授業外学修（予習・復習）等]

・教科書の各章を授業のスケジュールに合わせて読むこと。
・2回のロングディスカッションの前に、教科書、レジュメの復習をすること。

[その他（オフィスアワー等）]

知識を暗記する授業ではありません。知識を通して、自分の頭で考えることを期待する授業です。
各回の授業をしっかり受けて下さい。

[主要授業科目（学部・学科名）]